

東三河合併6氏が「湖西も」

県議選 豊橋市区 出馬予定者の公開討論会

豊橋市公会堂で23日夜開かれた、同市選挙区の県議選出馬予定者、浅井由崇(民・新)、市川健吾(無・新)、かしわぐま光代(民・現)、小久保三夫(自・現)、齋藤啓(共・新)、鈴木孝昌(自・現)、丹羽洋章(無・新)、渡会克明(公・現)の50音順の8氏による「公開討論会」は、「子育て教育問題」「東三河の将来ビジョン」をめぐり、〇×質問を交えながら意見を述べ合った。盛り上がりを見せたのは、将来ビジョンに関するテーマ。特に、道州制を見据えた東三河合併の枠組みでは、8氏中6氏が「湖西市も参加を」などと県境を超えた合併論を明らかにした。浅井氏は「豊川水系全体での合併が必要で、プラ

質問項目	立候補予定者 (当日席順)	丹羽洋章	市川健吾	齋藤啓	かしわぐま光代	渡会克明	小久保三夫	鈴木孝昌	浅井由崇
道州制の積極的導入に賛成		○	○	×	○	○	○	○	○
設案ダム建設は必要		○	○	×	○	○	○	○	○
アイプラザ廃止はやむを得ない		×	×	×	×	○	○	○	×

組みに、豊川用水で潤う周辺(湖西市と新居町)も考えたい」とした。鈴木氏は「天竜川流域のように豊川流域も合併が必要。三遠(東三河と遠州西)が一緒に組むべき」とし、丹羽氏も「湖西市を含めた豊川流域(の合併)で、政令指定都市をめざしたい」。渡会氏は大きく「環浜名湖市を指す」と、三遠南信地域全体での都市連合を強める考えを示した。これに対し、かしわぐま氏は「浜松や豊田と比べるのはいかなものか。また住民意識の統一ができていない」と慎重論。齋藤氏は「国や県がアメとムチを使って進めてきた、押し付けの合併には反対する」と述べた。(藤田彰彦)